

楽しい催しがいっぱい

健康まつり2006

10月1日(日)午前10時~午後2時 代々木病院

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL (3404) 7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。



研修医と 学びあう 3階病棟

代々木病院

代々木病院は06年度から臨床研修指定病院として2人の研修医の研修を開始しました。本館3階病棟は西村りえ医師、梨木洋医師を迎え、ともに学びあう活気ある病棟になっています。1年目研修医の2人と、3階病棟看護師長、友の会事務局長に思いを聞きました。



患者さんもイキイキ 職場にも活気

西村りえ 医師

5月から病棟研修が
始まり、あっとい
う間に1

に4カ月がすぎま
した。医療現場に慣れる
た。医療現場に慣れる

梨木 洋 医師

あっとい
う間に1日

週間が過ぎてしま
います。スタッフの方
たちに

迷いながら、少
しずつ仕事を覚
えているとい

う現状です。
学生のころは、一
人の患者さんの生活

背景までし
っかりとつか
かんで、その人らしい

人生を援助
できる医師に
なりたいと思
っていました

が、実際には、
それがどんなに
大変なことか

と感
じます。いまは、
診断し、治療
方針を立てるこ
とで忙しいとい
います。

学生のころ、大
学病院にも見
学に行きまし

きます。改めて、
医師の仕事は大
変だと感じて
います。ひとつ
ひとつの判断に
重みがあるし、
研修医といえど
人の生命を預か
っている重責を
感じます。

が、同期や仲間
に支えられて、
なんとか今日ま
でやってきまし
た。同時に社会
人として働き続
けることも大変
なことだと感じ
ています。責任の
重さが学生の時
とは違います。

今は5人の患者
さんを担当させ
ていただけてい
ます。自分の力
不足を感じる毎
日ですが、Aさ
んという中野共
立病院友の会の
患者さん

さん(画家・75
歳)が似顔絵や
風景画を描いて
くださり、私の
力を助けてくだ
さいました。患
者さんの笑顔や
言葉に励まされ
ることがしばしば

です。そういう
ちょっとした喜
びを大事にしてい
たいです。研修
をつづけたい
です。今後は
将来の事を考
えながら、自分
が医師として

活躍したいと思
っています。先
生の外れにみ
えるところ、僕
も猪岡先生につ
いて外来で研
修させていた
だいています。で
も、患者さんの
暮らし

ながら、助け
合いながら、
いいコンビで
がんばっています。
お互いの患者
さんのベッド
サイドに行っ
て、患者さんと
よく話し合っ
たり、また、終
末期の患者さん
にも、「お誕生
日おめでとう
ございます」と
声をかけてい
ます。この若さ
で、人生の最後
に立ち会うこ
とは、とても重
いこと

とだと思
います。看
取りもまた、
医療の中心
の大切なこと
です。代々木
病院のように
地域の中小病
院には、高齢
者も多く入院
しています。様
々な合併症を
もつ高齢者医
療は、総合的
な力量のある
医師が求めら
れます。

研修医の先生
方を受け入れ
ている私たち
の病棟スタッフ
は、チームの
力を合わせる
ためにカンフ
アランスをき
ち

の場もイメ
ージしながら
診療できるよ
うになるのは
、もっともっ
と先のことだ
と

と聞いて、き
め細かく情報
交換していま
す。研修医が
いると職員も
患者さんも活
気づきます。と
もによりよい
チーム医療を
めざしてい
ます。(代々木
病院医師研修
委員会委員)

よりよいチ
ームをめざ
したい

本館3階病
棟看護師長
吉元留美子

西村先生と梨
木先生は、お
互いに励まし
合



地域に頼ら
れる医師に

代々木病院友
の会事務局
長 清見温子

研修医のた
ち

は友の会の
先輩活動家
たちがどんな
思いで活動し
てきたかを聞
いてもらって
います。民医
連医療は、単
に病院の中
だけでつくら
れるものでは
なく、友の会
と一緒に、こ
ろづくってい
くものという
メッセージを
伝えたいと思
います。原宿
など華やかな
表通りを歩
中に入るこ
と、おしよ
うゆ一本買
うのにも不便
さもある。う
のにも不便さ
もある。落差
の激しい渋谷
の街で、がん
ばって生きて
いる人たちの
姿を見て、一
緒に街を歩
きました。

西村先生も
梨木先生も
街や患者さん
をとらえる感
性がすばらし
い。みんなか
ら好かれ、気
軽に声をかけ
られる医師に
なりたいと思
います。

てやっ
ていけるの
か?という不
安の方が大
きいというの
が正直なところ
です。数cm背
伸びして、ゆ
っくりとでも
前に進んでい
たいと思ってい
ます。

入院期間や
費用面で希望
に合う病院は
皆無かった。そ
の後友人から
連絡があり、
入院中の病
院で紹介され
た他県の病
院に転院する
事をやむな
く決めたこと
だった。改善
してきた麻
痺のことで認
知症がさらに
進むのではない
かと不安を抱
いたままの決
断だった。友
人は病院探
しの中で療
養病室が削減
される事を知
ったと言った
。医療改善の
中身がまだま
だ知られてい
ないのだと思
う。医療側は私
たちがもっと
大きな声を出
していかねば
ならないと思
います。最近
の思いを強く
感じた。(哲)

手術台

先日、わ
たしの友人
から病院探
しの相談が
あった。父
親が脳梗塞
で倒れ、麻
痺はリハビリ
で一定改善
して来たが
環境変化で
認知症が
かなり進ん
でしまった
。そんな中
、現在入院
中の病院か
ら3週間後
に転院を迫
られている
。認知症も
すんだ父親
を母親一人
で自宅で介
護する事が
できない、
できれば都
内、自宅近
くの病院で
長期入院を
したいとい
う希望があ
った。病院
探しを始めた
が、入院期
間や費用面
で希望に合
う病院は皆
無かった。そ
の後友人か
ら連絡があ
り、入院中
の病院で紹
介された他
県の病院に
転院する事
をやむなく
決めたこと
だった。改
善してきた
麻痺のことで
認知症がさ
らに進むの
ではないかと
不安を抱い
たままの決
断だった。友
人は病院探
しの中で療
養病室が削
減される事
を知ったと
言った。医
療改善の中
身がまだま
だ知られて
いないのだ
と思う。医
療側は私
たちがもっ
と大きな声
を出してい
かなければ
ならないと
思います。最
近の思いを
強く感じた
。(哲)

手術台

モノクロ